

(仮称) 千代田区子育て・教育ビジョン(素案)に対するご意見の概要と区の考え方

No.	意見の概要	区の考え方
1	<p>① 小中学校に通称「情緒級」と呼ばれる、知的発達に遅れはないが、子どもの特性・困り事に対し、個別に適した環境で支援や指導を受ける教室の設置を希望する。 現状では、通級やことばの教室などが用意されているが、週1～2時間程度であり不十分である。補助教員もクラスに1人では足りない場合が多い。結果、学校に通いたい気持ちはあるのにクラスに馴染めず、行き渋りや不登校、授業妨害などが起きている。 多様性とは、個性が認められる安心感を土台に育まれるものと考え。その安心感を得られるよう、通常学級のリソースで限界を超える場合の「受け皿」を用意してもらいたい。</p> <p>② 国語の習熟度別指導を希望する。 とくに小学校低学年では国語の授業割合が高く「国語がわからない」ことが「勉強が嫌い。学校に行きたくない」に直結する。 算数と同様に習熟度別指導があれば、不登校や授業妨害の原因を減らすことができると考える。</p>	<p>① 「子育て・教育ビジョン」第4章6「子どもの多様なニーズに応じた教育環境・相談体制の整備」に関連した、個別の取組みへのご意見として受け止めさせていただきます。ご意見につきましては、今後の教育施策の参考とさせていただきます。</p> <p>② 同第4章2「全ての子どもに確かな学びを育む教育の推進」に関連した、個別の取組みへのご意見として受け止めさせていただきます。ご意見につきましては、今後の教育施策の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>九段中等教育学校の前期課程には給食があるが、後期課程は給食がないので、可能であれば給食やお弁当の販売、カフェの併設等を検討してほしい。</p>	<p>「子育て・教育ビジョン」第4章3「健康で安全に生活する力を育む教育の推進」に関連した、個別の取組みへのご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>九段中等教育学校後期課程では、令和6年1月から試験的に弁当の販売を行っています。試験購買の結果を検証し、来年度以降の実施について検討していきます。</p> <p>なお、同校前期課程につきましては、引き続き栄養バランスのとれた給食の提供を行ってまいります。</p>
3	<p>子供たちが健やかに成長するためには、十分な栄養を摂ることが大切だと思う。 よって、以下を提案する。 ・公立の高校での給食の提供 ・学校の長期休暇での食に関するサポート(フードロス品や、備蓄品の期限間近なものを図書館や区役所などの公共機関でもらえるような仕組み) 子供の貧困が社会問題であると認識している。低所得家庭に対する金銭的な補助が、食に使われるか分かりかねる部分があるので、子供に直接的にサポートする仕組みがあると良いと思う。 また、公立高校の給食提供は、共働き世帯が多いので、給食があることで、より時間や気持ちに余裕ができる生活に繋がると思う。特に九段中等教育学校は前期課程が給食なので、後期課程の給食導入も速やかにできるのではと思う。</p>	<p>「子育て・教育ビジョン」第4章3「健康で安全に生活する力を育む教育の推進」に関連した、個別の取組みへのご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>高校における給食の提供に関しては、九段中等教育学校後期課程において令和6年1月から試験的に弁当の販売を行っています。試験購買の結果を検証し、来年度以降の実施について検討していきます。</p> <p>食に関するサポートへのご意見につきましては、関係する部署と情報を共有させていただきます。</p>

No.	意見の概要	区の方考え方
4	<p>千代田区子育て・教育ビジョン(素案)について、細かく教育方針や考え方がよくわかる内容だったと思う。</p> <p>しかし、資料には学びやその教育の目的が書かれておらず、子供たちはなぜ学ぶのかという点が抜けていると感じる。個性は尊重する前提ではあるが、大筋でどのような人が評価されるのかという視点がないと従来の詰め込み教育が正となり、主体性がなく過ごす義務教育になりそうなイメージがある。</p> <p>もう1点は想像力を育む部分である。資料では全体的に子供へのインプットが多く、教育という観点から間違っていないがアウトプットの視点がないと現実社会で役に立たないのではと感じた。</p>	<p>ご指摘の1点目につきましては、「子育て・教育ビジョン」第3章1「基本理念」や同章3「めざす子どもたちの姿」において、区の基本的考え方や目指す姿を記載しております。</p> <p>2点目の想像力を育むという点につきましては、同第4章1「豊かな心を育て、多様性を認め合う人を育む教育の推進」において、関連する記載をしております。</p> <p>併せて、いずれのご指摘につきましても、日々の教育活動に関するご意見としても受け止めさせていただきます。各教科等を中心として、教育課程全体を通して、学習指導要領で育成を目指すべき3つの資質・能力にも示されている「思考力・判断力・表現力等」の育成にも注力してまいります。</p>
5	<p>共働き世帯も多いため学校のアフタースクールが充実していると助かる。例えばスイミングや英語教室等、有料でもいいので学校内でしてもらえると、子供を1人で塾に通わせる時の心配が回避され保護者は助かる。</p> <p>今使っているタブレットだが、重く、立ち上げにも時間がかかっている。紛失した場合の保護者への負担も大きいので、性能が低くても軽く、使いやすいものを検討してほしい。</p>	<p>「子育て・教育ビジョン」第4章4「予測困難な未来を切り拓くことのできる人材の育成」及び同章7「質の高い子育て・教育を支える環境の整備」に関連した、個別の取組みへのご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>アフタースクールを含めた学童クラブについては、同第4章7でも記載のとおり、その受け入れ態勢確保を進めるとともに、活動の質の向上に取り組んでまいります。ご意見につきましては、今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p> <p>タブレットへのご意見につきましては、今後の機器更新の際の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>子どもたちは小学校からICTを活用した教育を受けることができ、1人に1台配布していただいたタブレットは自学にも大変役に立っている。しかし、中学を卒業してしまうと、せっかく活用していたタブレットが無くなり、教育を受ける機会が減ってしまうと思う。</p> <p>また、これまで学校でAIを活用した学びの機会はない。</p> <p>タブレットはフル活用していても、AIについては非常に意識が低かった。</p> <p>このことから、学校でAIについて学べる九段中等教育学校の生徒と他の公立中学校2校の生徒では、意識の差が出て活用意欲にも差が生じると思う。</p> <p>「第4章 基本的方向性」の、特に2と4については九段中等に通う生徒は18歳まで、ビジョンに則った教育を受けることが出来るかもしれないが、麴町中学校と神田一橋中学校に通う生徒たちは、在学中や卒業後どのような学びの機会が得られるのだろうか。</p> <p>一部の生徒しか受けられない教育が、施策として実施していると言われることに違和感を感じた。</p> <p>九段中等に通う生徒も、他の2校に通う生徒も、ビジョン通り18歳までの子どもが統一的、効率的、効果的な教育を平等に受けられる施策であって欲しいと思い、意見として提出する。</p>	<p>ご意見は、「区立学校に通う全ての子どもたちが同様に受けられない取組みを、施策として子育て・教育ビジョンに記載するのはおかしいのではないか」というご指摘が主旨であると受け止めさせていただきました。</p> <p>区立中等教育学校の設置は、都内他区市町村にはない施策であり、千代田区らしさを表すものとして本ビジョンに記載をしております。また、生成AIにつきましては、九段中等教育学校が文部科学省のパイロット校として教育活動に取り入れております。その取組みの成果については、今後、区内各学校で共有していくことを検討しております。</p> <p>なお、言及いただきました一人一台端末として配布しているタブレットにつきましては、引き続き教育活動に効果的に活用してまいります。</p>